

中谷農事組合法人 兵庫県豊岡市

基本情報

- ・経営面積64.6ha
水稲・大豆・小麦・WCS・飼料用米(H26)等による土地利用型経営
- ・構成員33名(集落全戸)
1集落1農場

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	38.6ha	26a
主食用米(直播)	2.8ha	135a
飼料用米(移植)	0.7ha	74a
大豆	17.2ha	—
小麦	16.6ha	—
WCS	4.3ha	—



V溝不耕起乾田直播栽培の播種作業

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・「人をつくる、村をつくる、未来をつくる」
- ・コウノトリが舞い降りる田んぼで環境創造型農業を中心に経営
- ・村のみんなで自然と人が共生できる農業を実践しながら、新技術を導入し、低コスト化にも取組

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- ① 乾田直播栽培の導入(V溝不耕起)
 - ・ 乾田直播栽培の導入と収量の安定化により、玄米60kgあたり12,000円以下を実現
 - ・ 育苗や肥料等の資材費を低減、労働時間も短縮
 - ・ 水稲面積を拡大するときに育苗施設の増設を回避可能
- ② 病虫害発生予察による基幹防除の削減
 - ・ 病虫害発生予察に基づいて基幹防除の回数を削減し、発生状況に応じて臨機防除をする方式に切り替えることで、農薬費を削減

導入効果

- ① 直播栽培の導入
 - ・ 施肥
肥料費▲約5割
(移植栽培との比較)
- ② 基幹防除削減
 - ・ 防除
農薬費▲約3割
(慣行栽培との比較)

支援体制

- ・ 県普及センター等による技術導入・技術確立支援
- ・ JIAによる施設利用の支援、協力関係
- ・ 低コスト化経営分析に係るソフト事業の活用

課題・今後の目標

法人経営の中で、水稲で唯一、一般栽培のV溝不耕起乾田直播栽培で、特別栽培技術を確立し、環境創造型農業と低コスト省力技術の両立を実現したい